

平成 23 年度 横浜市立図書館年報

目 次

1	沿革	P. 2
2	機構・人員	P. 5
3	図書館一覧	P. 6
4	平成 22 年度図書館資料統計	P. 8
(1)	蔵書数	P. 8
	ア 図書資料 イ 新聞・雑誌 ウ 参考資料	
	エ CD-ROM オ マイクロフィルム・マイクロフィッシュ	
	カ 個人貸出用図書・分野別所蔵数	
(2)	年間受入冊数	P. 12
	ア 図書資料[個人貸出・閲覧用] イ 図書資料[団体貸出用]	
(3)	年間除籍冊数	P. 13
	ア 図書資料[個人貸出・閲覧用] イ 図書資料[団体貸出用]	
(4)	再活用図書	P. 13
5	平成 22 年度利用統計	P. 14
(1)	個人貸出	P. 14
	ア 登録者数 イ 貸出冊数 ウ 貸出延長冊数	
	エ 一日平均利用状況	
(2)	予約図書受付冊数	P. 16
	ア 予約受付冊数[館別] イ 予約受付方法別	
(3)	レファレンス件数	P. 17
(4)	市外図書館との相互貸借冊数	P. 17
(5)	障害者支援事業	P. 18
	ア 登録者数 イ 貸出数 ウ 録音資料蔵書数	
	エ 点字資料等蔵書数 オ 対面朗読 カ 音訳者登録者数	
(6)	音楽映像ライブラリー	P. 19
	ア 資料点数 イ 年間受入数 ウ 年間除籍数	
	エ 利用点数 オ ブース利用回数	
(7)	移動図書館	P. 20
	移動図書館車の駐車場と利用状況	
(8)	団体貸出	P. 21
	ア 登録図書館別団体数 イ 利用状況	
(9)	企画事業、その他の事業	P. 22
	ア 全館事業 イ 中央図書館の主な事業 ウ 地域図書館の主な事業	
	エ おはなし会等事業 オ 検索機使い方相談・講座 カ 講師派遣	
6	平成 22 年度 横浜市立図書館の目標と振り返り	P. 29
7	平成 22 年度 事業のまとめ	P. 33
(1)	利用者にとってより便利で快適な図書館を目指します	P. 33
	ア 身近な公共施設での図書の貸出・返却取次サービスの実施(図書取次サービス事業)	
	イ 利用者の要望の把握(広聴事業)	

(2)市民が必要とする資料・情報を収集します	P. 34
ア 蔵書再構成5か年計画を策定しました	
イ 図書の寄贈を広く募りました	
(3)市民と情報を結び付けます	P. 34
ア ホームページの充実に努めます	
イ 市民の学び・調査研究や課題解決への支援に努めます	
ウ 行政への支援（庁内情報拠点化事業）を行います	
エ 広報活動を通じた情報発信を行います	
(4)国民読書年事業をはじめとした企画事業を実施しました	P. 37
ア 国民読書年事業	イ 統一キャンペーン
	ウ APEC巡回展
エ その他の事業	
(5)「横浜市子ども読書活動推進計画」に基づき子どもの読書活動を推進します	P. 38
ア 「横浜市立図書館児童サービス5か年計画」を策定しました	
イ 子どもの読書活動の推進	ウ 家庭・地域における読書活動への支援
エ 学校教育及び学校図書館への支援	オ 読み聞かせ等講習の実施
(6)市民や外部機関と連携し協働を進めます	P. 40
ア 協働の仕組みづくり	イ 企業との連携・協働
ウ 他機関（大学・研究機関・行政機関など）との連携	
(7)その他のトピックス	P. 41
ア 財源確保のための取組（広告事業）	イ 東日本大震災への対応
(8)関連記事	P. 42
8 平成23年度 横浜市立図書館の予算と目標	P. 46
(1)予算	P. 46
(2)平成23年度横浜市立図書館の目標	P. 47
9 これからの図書館を視野においた取組	P. 49
(1)横浜市立図書館アクションプランを策定しました	
(2)図書館運営について	
10 横浜市立図書館条例・規則	P. 50
11 他都市との比較	P. 60
12 図書館カレンダー	P. 62
13 図書館配置図	

表紙図版 【横浜市図書館全景（現：横浜中央図書館）】（昭和31年4月撮影）
（中央図書館所蔵 日吉光夫氏提供）

横浜市立図書館の歴史は、大正10年6月、横浜公園内の仮閲覧所での開業から始まります。しかし、その2年後に発生した関東大震災により、仮閲覧所は全焼、蔵書も焼失してしまいました。

横浜市はこの後、野毛山に公園・図書館・震災記念館を相次いで整備し、野毛山は震災前の富裕商人の別荘地から文化の地へと変貌を遂げます。戦後は野毛から横浜の文化が復興し、昭和30年代は図書館が文化事業の拠点になりました。

写真中央の横浜市図書館は昭和2年に野毛山に竣工され、平成2年に横浜中央図書館への建替えを目的として解体されるまで、60年以上にわたり「野毛の図書館」として市民に親しまれていました。

その建物について、美術評論家の海野弘氏は「入口や屋根の、土を盛ったようなふくらみがあたたかさを感じさせる。」(*)と記述しています。

写真前方に「野毛山遊園地入口」ゲートと「桜まつり」の看板が見えます。昭和26年に開園した野毛山遊園地は、プール・動物園を有する市民の憩いの場所でした。この写真は、現在の野毛坂交差点の周辺で撮影されました。野毛坂には多くの往来が見え、昭和30年代当時の野毛山一体の賑わいと活気が伺われます。※『横浜・都市と建築の100年』（横浜市建築局企画管理課 1989）より引用